



ニュース

第25号

2011年4月25日発行

トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

広島西飛行場ターミナルビル1F

TEL ; 082-233-3233 FAX ; 082-233-3251

URL ; www.tops-h.net/

ニュース

加盟団体

- ・ NTT西日本広島
- ・ サンフレッチェ広島
- ・ JTサンダーズ
- ・ 湧永製菓
- ・ 広島メイプルレッズ
- ・ 広島ガスバドミントン部
- ・ ソフトテニスクラブ
- ・ 中国電力陸上競技部
- ・ コカ・コーラウエスト
- ・ レッドスパークスホッケー部
- ・ 広島東洋カープ

特定非営利活動法人広島トップスネットワーク（略称トップス広島）は3月28日、猫田記念体育館で理事会・総会を開き、任期満了に伴う役員改選や事業計画、収支予算案などを満場一致で承認した。

新役員は全員が留任、新理事長に山下仁氏が再び就任した。役員の任期は4月から2年。事業計画では指導や相互交流などのほか、新たに学生と連携を図り広島スポーツ界の活性化に寄与することなどを決めた。

山下理事長ら全員留任
事業計画承認 新たに学生との連携盛り込む
トップス理事会・総会

被災地に元気を…街頭募金



加盟全9クラブ参加 市内3カ所

トップス広島は東日本大震災を受けて4月4日、広島駅南口、同地下広場、紙屋町シャレオ中央広場の3カ所に分かれ、被災地復興支援のための街頭募金活動を行った。=写真は広島駅地下広場での募金活動

参加したのは、サンフレッチェ広島や中国電力陸上部、広島ガスバドミントン部など加盟全9クラブの選手72人のほかスタッフ30人の合わせて102人。

帰宅途中の多くの人たちが行き交う場所でのトップススリートの呼びかけに、多くの募金が集まった。

参加した選手の中には被災地の出身者や家族が避難生活を送っている人もおり、大きな声で「募金にご協力を」と呼びかけた。

この日集まった募金は85万2949円で、日本赤十字社を通して被災地の復興に使われる。

《トップス広島 新役員》

理事長	山下 仁	(県バレーボール協会副会長)
副理事長	山本 一	(県ハンドボール協会理事長)
理事	河邊 捷義	(県ホッケー協会会長)
	山崎 千秋	(サンフレッチェ広島取締役事業本部長)
	栗生 澤淳一	(JTバレーボール部部長)
	長澤 純平	(湧永製菓ハンドボール部副部長)
	檀上 征彦	(広島メイプルレッズGM代行)
	垣井 和行	(広島ガスバドミントン部部長)
	長山 和博	(NTT西日本広島ソフトテニス部部長)
	渡部 伸夫	(中国電力陸上競技部部長)
	勝場 通泰	(広島東洋カープ取締役運営本部長)
	白井 孝司	(県サッカー協会専務理事)
	下村 英士	(県バレーボール協会専務理事)
	西村 健二	(県バドミントン協会理事長)
	竹鐘 守	(県ソフトテニス連盟副会長)
	東川 安雄	(広島陸上競技協会専務理事)
	梶師 巧博	(県ホッケー協会理事長)
	久保田 文也	(県体育協会専務理事)
監事	武井 康年	(広島総合法律会計事務所 弁護士)
	・長 孝治	(広島市スポーツ協会専務理事)

コイの季節だ

開幕ダッシュで「コイの季節」の先取りだー。東日本大震災で開幕が延期されていたプロ野球は12日、セ・パ同時開幕。試合前の黙祷のあと球音が弾けた。

カープは2年ぶりの6連勝の開幕ダッシュ。MLB全体1位のバリントンが先陣を切ると、09年1位の今村、10年1位の福井が初勝利を挙げて勢いに乗せ、昨シーズンタイトルを総なめした前田健が続く。

さらに26歳の誕生日を迎えた4年目左腕・篠田が2年ぶり2度目の完封勝利。5連勝で6年ぶりの単独首位に立つと、打線も援護。丸が初の猛打賞でバリントンを支え連勝を6に伸ばした。貯金は4、これは7年ぶりの記録となった。

13年連続Bクラスに沈むチームに活力を取り戻す若い力の活躍。今シーズンのテーマである「逆襲」へ今後どのような戦いでファンに笑顔を取り戻すか。本格的な「コイの季節」を迎えるカープの快進撃が楽しみにってきた。

日米ドラ1で6連勝



バリントン↓今村↓福井↓前田健↓篠田↓バリントン

黙祷：球音弾ける

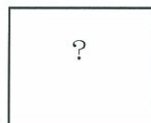


指揮官交代

LEONIC

呉龍基監督→呉成玉昇格

山口 修監督→後任 ?



ハンドボール日本リーグ加盟男子・湧永製薬と女子・メイプルレッズの指揮官が交代一。

メイプルレッズは呉龍基監督に代わって黄金時代を支え昨シーズン復帰した呉成玉が新監督に就任、復活を目指す。選手ではC P伊藤瞳のほか、昨年入部したG K石原直美とC P西村友理佳の3人が退部した。

湧永製薬は山口修監督が東アジアクラブ選手権での指揮で17年間の在籍に終止符を打った。後任は未定。また、同じ17年間在籍した浜本忠志選手兼コーチ、8年間活躍した福田大樹主将がユニホームを脱いだ。

《湧永製薬の成績》

- 30 (13-15、17-11) 26 山東 (中国)
- 24 (12-16、12-14) 30 斗山 (韓国)
- 26 (15-16、11-12) 28 江蘇 (中国)
- ▽ 順位 ①斗山3勝②江蘇2勝1敗③湧永製薬1勝2敗④山東3敗

メイプル田口代表に初選出 日韓定期戦

ハンドボールの日韓代表国際交流定期戦2011は24日に韓国・光明市で行われたが、女子日本代表メンバーにメイプルレッズのG K田口舞が初めて選出された。

田口は名古屋市出身。中学からハンドボールをはじめ桜花学園高から筑波大を経て昨年メイプルレッズに加わった。06年から3年間、インカレ優勝に貢献した。168センチ、63キログラム。

ほかに湧永製薬のG K志水孝行、谷村遼太、メイプルレッズの植垣暁恵が選ばれた。

山口監督最後の指揮となった東アジアクラブ選手権は9日から4日間、中国・山東省の栄成で行われ、湧永製薬は3位に終わった。

日本リーグ1位の大崎電気が東日本大震災の影響で出場を辞退。急ぎよ巡ってきた3年ぶり2度目の出場だった。

初戦の地元・山東には逆転で白星を挙げたが、続く韓国の強豪で優勝した斗山に黒星を喫し、最終戦で2位に望みを託した。江蘇 (中国) とは1点を争う接線となったが、前、後半ともに1点が重くのしかかり、2点差で涙をのんだ。ベスト7に新と谷村が選ばれた。

なお、女子の北国銀行は2勝1敗で2位だった。優勝は韓国の仁川市体育会で3戦全勝。

東アジアクラブ選手権

大崎辞退で出場

湧永 3位



新戦力

「躍進に貢献」誓いの

広ガスに3新人

早川が引退、主将に橋本

バドミントン日本リーグ1部復帰を決めた広島ガスに3新人が加わった。井上春奈、井上静華、菊山久美子で、いずれも「飛躍へ精いっぱい頑張る」と張り切っている。一方、主将を務めていた早川由希子、後藤舞両選手がユニホームを脱ぎ、新主将には橋本麻衣子が就任した。



井上 春奈



井上 静華



菊山 久美子

井上 春奈	井上 静華	菊山久美子
1988年3月28日生まれ。埼玉栄高一専大。168センチ。AB型。右利き。09年東日本インカレ単準優勝、複3位	1988年1月16日生まれ。都立西山高一日体大。156センチ。O型。左利き。インカレ09年単3位、10年準優勝	1988年6月4日生まれ。常総学院高一東女体大。166センチ。O型。右利き。08年関東学生複優勝、東日本インカレ3位

こちらも村上ら3人

NTTソフトテニスクラブにも3人が加わった。男子は昨年の西日本インカレの覇者村上雄人 (愛知学院大)、女子は黒木愛実 (宮崎商高) 小林美咲 (文化女大付杉並高)。

中でも期待されるのは中堀の抜けた穴を埋める選手と期待が高まる村上。ナショナルメンバーとしても楽しみ。「被災地に感動を」とコメント。



村上 雄人
1988.9.9生、168センチ、60キログラム

J再開 勇気与える



開幕戦のあと中断していたJリーグは23日再開。サンフレッチェは24日に地元ビッグアーチにG大阪を迎えた。中断期間中も精力的に練習試合をこなして再開に備えてきた。ドロー発進となった今シーズンだが、練習試合でも佐藤、李ら攻撃陣は健在。意思統一した“全員サッカー”で上位を目指した戦いをサポーターは待っている。

バレーボールの黒鷲旗全日本男女選抜大会は30日から大阪府立体育館で行われ、JTは7年ぶりの頂点を目指す。4チームに分かれて予選リーグのあと各組2位までが決勝トーナメントに進む。

D組のJTはバナソニック、富士通、筑波大と予選リーグを戦う。プレミアリーグ中止で5位に終わった無念をコートにぶつける。



7年ぶりVへ

黒鷲旗 30日開幕

《コカ・コーラウエスト日程》

▽第1節	月日	相手	開始時間	会場
	5.20	南都銀行	14:00	奈良
		21 天理大	13:00	奈良
		22 立命大	11:00	奈良
▽第2節				
	7.9	東海学院大	15:00	広島
		10 ソニー	14:00	広島
▽第3節				
	9.24	山梨学院大	15:00	栃木
		25 グラクソ・ミスライ	15:00	栃木

※プレーオフ
10.15 リーグ戦順位決定戦 岐阜
16 最終順位決定戦 岐阜
(注) 会場の奈良は親里ホッケー場、広島はコカ・コーラウエストレッドスパークスホッケースタジアム、栃木は日光市ホッケー場、岐阜は県グリーンスタジアム



日本リーグ

延期された日本リーグ女子は5月20日開幕コカ・コーラウエストは初の頂点に挑戦する。地元では7月9、10日に開かれる。

頂点へ虎視眈々

中国電力 陸上競技部 石川6位

選抜大会 5000

陸上の選抜中・長距離大会が9日、熊本県民総合運動公園陸上競技場で行われ、男子5000メートルに出場した石川卓哉が1分35秒38のタイムで6位に入った。優勝はエドワード・ワウエル (NTN) で1分32秒21秒37。石川の6位は日本人選手ではトップの成績。



ロゴマークの意味 広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。